

議事録（要旨）

委 員 会 名	台東区消防団運営委員会		
日 時	令和8年7月15日（水） 10時28分から11時07分まで		
場 所	台東区東上野四丁目5番6号 台東区役所7階議会第三会議室		
諮 問 事 項	切迫する首都直下地震に備え、効果的な活動の実現に向けた災害活動力の継続的な強化方策について		
出 席 者	服部 征夫（台東区長）、早川 太郎（台東区議会議員）、中山 寛進（都議会議員）、保坂 真宏（都議会議員）、今井 要一（上野防火防災協会長）、黒田 収（浅草防火防災協会長）、鈴木 千代子（日本堤防火協会長）、黒崎 清貴（上野消防署長）、関政幸（浅草消防署長）、笹岡 一弥（日本堤消防署長）、佐藤 明人（上野消防団長）、西井 敏彦（浅草消防団長）、榎 一郎（日本堤消防団長）		
欠 席 者	1名		
傍 聴 者	なし		
配 布 資 料	1 次第		
	2 資料1	台東区消防団運営委員会名簿	
	3 資料2	台東区消防団運営委員会席次	
	4 資料3	台東区消防団運営委員会（第1回）の審議結果について	
	5 資料4	災害活動力の継続的な強化に向けたアンケート調査の結果	
	6 資料4－1	年齢・団員歴・性別による回答の傾向	
	7 資料5	台東区消防団運営委員会 答申骨子（案）	
	8 資料6	審議予定	
	9 別添え	アンケート集計結果	
議事内容			
1 開催・事務連絡 （事務局）開催の挨拶、議事録の公表について説明した。 2 委員長挨拶 服部委員長から、第1回の議論を踏まえて活発な審議を賜る旨、挨拶があった。 3 委員の紹介 （事務局）第1回の委員会から変更となった委員の紹介を実施した。 （上野消防署長、浅草消防団長） 4 議事 （1）台東区消防団運営委員会（第1回）の審議結果について（資料3） （事務局） 第1回委員会で整理された主な課題として、①災害活動の機会減少に伴う訓練の重要性、②消			

防団員の定数確保に向けた入団促進、③資機材の軽量化やデジタル化等による活動環境の最適化が示されたと説明した。

(各委員) 質問、意見なし

(2) アンケート調査結果について

(事務局)

第1回の委員会で審議された項目について、消防団員を対象としたアンケート調査を実施し、その結果について説明した。(資料4、資料4-1、別添え)

(中山委員)

私は都市整備委員会に所属しているが、東京都においても、マンションの住民が町会員になるような仕組み作りをうまく作れないか、マンション業者やディベロッパーに話をしている。

マンションに住んでいる方々が増えている中で、消防団員の中にはマンションに住んでいる方もいるので、例えばマンションの掲示板に貼らしてもらうなどのアプローチが消防団になろうというきっかけになると思うが、その辺はどう考えているか。

(事務局)

消防団員も自分の仲間を増やすためにいろいろなアイデアを出している。マンションの掲示板に貼り紙をやって、貼ったところから消防団員が入団したという話もある。その情報が広がると、うちの分団でもやろうという形になり、今まで手がついていないところに進み始めている。

(中山委員)

今も実際にやられているとのこと、町会員や消防団について企業にも働きかけていくべきと思った次第である。

昨日も新聞に避難所の計画などが報道されている中で、関心のある人達も多いため、東京都もやっていきたいという感想である。

(保坂委員)

基本的に消防団の活動の露出を高めたいというのは、皆さん共通だと思う。

消防団の皆さんと話をしている中で、自分たちの活動をPRしていくというのは確かにやられている。何が足りないかというとSNSがでてる。

SNSを検討するのではなく、本格的に、誰か担当をつけて各消防団、消防署のサポートをし、これを組織的にやらないと、手が空いた方がやってくださいと言うと終わってしまうため、今まで、できる人がやるみたいな形は、他の自治体でもだが、そこが踏み切れるかどうか、決して大きな負担ではない。若い方で1人担当をつけて、お互いチェックして配信するという形にするべきかと最近すごく思う。

操法訓練だが、これは1年かけて、自分たちの訓練の成果を披露するたった1回の日をダイジェストに流すとか、ホームページで流すというのは、なかなかそこにはたどり着かない。身近な自

分の消防団、自分の地域の消防団がどういう活動をしているのかは、一番効率的に、かつ身近に感じるのはSNSではないか。

1回引っかければ、紐づいて、興味ある方には情報がいくと思うので、やるという方針のもとで、負担のないところで継続してやっていくことが、今後、重要であると思うし、結構年齢の上の方もそういうのを見ている方が最近多いので、そこはぜひお願いしたい。

署のお考えはどうか。

(事務局)

署の中でも露出を多くする取り組みはやっているが、一步踏み出せないところがある。SNSを使った広報は組織的に慣れていない部分があり、何かに抵触するのではないかとといった絶対的な経験値が足りないので、踏み込めないところがある。

台東区の消防団だけでなく、特別区の消防団全体がそうであり、課題認識は持っているので、改善に向けて取り組んでいく考えである。

(保坂委員)

今、関心が非常に高まっている一つは、防災庁ができるということで、メディアの露出も高くなり、防災庁と消防団、消防署との絡みがでてくるので、世間的に関心がこれから高くなってくると思う。そこを上手く利用してPRしていくべきと思うが、防災庁と連携の話はきているのか。

(事務局)

浅草消防団事務局としては、情報は入っていない状況である。東京消防庁や東京都でどう考えているかも承知はしていない状況である。

(早川委員)

消防団の知り合いはたくさんいる中で、その方々は、地元に住み、町会や青年部もやって、先輩や後輩の中に入っている方々がすごく多い。

私の地域でも、台東区生まれ、台東区育ちではない方々が増えてきて、町会に参加しにくい声もあり、地域活動に従事しない方々が増えている。興味がある方も結構いるが、共働きで、昼間の自由時間がない中で台東区に住んでいる。でも、地域の課題を自分のできる範囲であれば可能という方々も多いので、どうコミットを取っていくかが効果的なのか常々考えている。

先日、東浅草小学校で、日本堤消防署と消防団の協力のもと、消防訓練をやりながら水遊びを行った。PTAではない親御さんや子供が参加していて、子供が小さいと消防団活動は難しいかもしれないから、ある程度落ち着いてからという方々はある。

今回のアンケートで女性が増えているデータを見ると、消防署や消防団は学校とのコミットを結構取っていると思うが、一般の保護者の方々向けに、消防団はこういう活動で、すべて参加できる人もいれば、できる範囲で参加する人もいるなどのインフォメーションを強めていくと良いのではないかな。

SNSを見て入団する人は、それなりの人しかいないので、誰か一声があると、興味をさらに倍増させて入団するきっかけになる。例えば体験を学校単位で行えば、1回くらい参加してみたい人も出てくるかもしれない。地域と繋がっていない方を振り向かせる手段はあまりなく、出来ることをいくつも重ねていくことで、インセンティブが働くかもしれない。

(3) 答申骨子案について (資料5)

(事務局)

訓練の実効性を高める方策、効果的な入団促進を図る方策、活動環境の最適化の方策について、アンケート結果と委員からの意見を踏まえて、答申にまとめていく説明を行った。

(委員) 質問、意見なし

5 今後の審議予定について (資料6)

(事務局)

第3回の消防団運営委員会の日程について説明。

次回開催は、令和9年1月13日(水) 10時30分を予定。

(委員) 質問、意見なし

6 その他

(佐藤委員)

町会や学校の子供会等での防災訓練が消防団員の目立つ活動で、その2つが一番多い。私の地域で、今週に子供会をやり、その時に消防団員が来るので、露出度としては最高だと思う。そこに年頃の父親や母親がきて、町会以外でも顔がわからない方に、放水体験で、後ろで補助したりもできるので、活用していくといいと思う。

消防団員は、いろいろと消防署から教えてもらうが、素人の方に教えると、自分達も勉強になるので、そういった機会もいいのではと思う。

アンケートで、8月、9月に消防団の入団が多いというのがあったが、子供会や夏の活動で誘われて入団しているのが多いのではと思う。

行事の縮小や負担軽減については、他の消防団では、合同点検を消防団ごとにやっている所もあるが、台東区は狭くて、活動する広場がリバーサイドくらいしかないので、3団合同でやるべきと思う。ただし、今までみたいに点検を見せるのではなく、実践的にやる訓練をやりたい。

7 閉会

以 上